

のぞみ155号緊急停止！

岐阜羽島～米原走行中・配電盤から発煙！

事故詳細と原因・対策を労働組合に開示せよ！

8月9日午前10時40分頃、岐阜羽島～米原間を走行中の「のぞみ155号」の配電盤から煙が出ているのを車内販売担当が気づき、非常ブザーを扱い緊急停止したことが新聞で報じられました。また、この事故で、当該列車は現地に約20分停車後、米原で運転を打ち切り、約1000人の乗客が後続列車に乗り換えるなどしたため、11本の列車に遅れが発生し1万1000人に影響したと報じています。

夏季輸送最中の重大事故であり、乗客に多大な迷惑をかけたことから、事故詳細、原因・対策を早急に解明するために、労働組合と協議すると共に、すべての社員に情報を開示すべきです。JR東海労は、直ちに会社に申し入れを行いました。

『緊急申し入れ』を提出！

九日午前十時四十分ごろ、岐阜羽島～米原間を走行中の東海道新幹線下りののぞみ155号(十六両編成)が緊急停車した。JR東海によると、乗務員が14号車のデッキに設置された配電盤

のぞみが緊急停車 新幹線デッキ配電盤から煙

開。午前十一時すぎに米原駅に到着し、乗客

約千人は後続の新幹線に乗り換えた。けが人はなかった。同社によると、東海道新幹線の下り線計十二本が最大三十二分遅れ、約一万一千人に影響が出た。

東京新聞

8月9日夕刊

JR東海労申第6号
2010年8月10日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 山田 佳臣 殿

JR東海労働組合
中央執行委員長 淵上 利



新幹線『のぞみ号』緊急停車に関する緊急申し入れ

報道機関は8月9日「東海道新幹線『のぞみ155号』の配電盤から煙が出ていたため緊急停止し、安全確認後運転再開した」などと報じた。JR東海労はこの事象について、以下のとおり申し入れるので、誠意ある回答をすること。

記

1. この事象について、以下の内容等について詳細を明らかにすること。
(1) 発生日時、発生箇所(キロ程)、列車番号、車両の編成番号。
(2) 当該列車の運転士に停止手配を要請した者とその理由。若しくは当該列車の運転士が停止手配をとる事象が運転台に発生したのか。
(3) 当該列車の停止地点、運転再開の判断に至るまでの時系列、運転再開を判断した社員とその理由。
2. 当該列車の乗務員、乗客に怪我はなかったのか、あったのか、詳細を明らかにすること。
3. 「当該列車は米原駅で運転を打ち切り、乗客は後続列車に乗り換えた」などと報道されているが、これは事実か明らかにすること。
4. 3項記載の報道が事実とした場合、当該列車の編成とその後の運用、乗客の救済方法について明らかにすること。
5. この事象の原因究明に当たった会社の部署を明らかにすること。
6. 現時点で会社が考える当該事象の原因を明らかにすること。また、再発防止策について明らかにすること。

以上